総務環境委員会

問 在住外国人向け生活オリエンテーション動画の制作内容は。

答 やさしい日本語と英語で、「ごみの出し方」「災害と地域の助け合い」「こどもの学校」の3本を制作した。再生回数も150回以上あり、転入する外国人や雇用する事業所などに周知を図り、多文化共生の取組を推進していく。



ごみの出し方


災害と地域の助け合い

高山市公式YouTubeチャンネル
在住外国人のための
オリエンテーション動画。 ☞

問 令和7年度、環境政策アドバイザーからの助言にはどのようなものがあったか。

答 ごみ焼却発電を用いた水素生成・利活用について助言をもらった。課題は導入費が10億円以上かかること、プラスチック焼却は国の補助対象として難しい可能性があることの指摘を受けた。今後も引き続きごみ処理施設での水素利用を研究し、脱炭素先行地域での小水力発電等も含め検討を進める。

福祉文教委員会

問 5歳児検診を1年間運用した成果とその分析は。



答 対象者556名に対する受診率は97.7%で、その内の有所見者が46.6%であった。受診後のフォローとして、医療機関や必要な療育等、他機関への連携がとれたこともあり、効果的な事業であったと認識している。受診後のフォロー内容をより充実させていきたい。

問 部活動の地域移行に伴うバス運行について、感謝の声が聞こえる一方で、種目や日時等における不公平感についての意見もあるがその対応は。

答 そのような声もふまえ、今後も保護者負担を軽減できるよう検討を重ねていく必要があると考えている。

問 介護支援専門員の資格更新費用の助成は、令和7年度の利用実績が少なかったようだが、評価と課題は。

答 実績が１件に留まったことから、当助成については令和8年度から廃止した。介護専門職を目指す学生へのアルバイト助成なども実績が伸びておらず、引き続き事業のあり方を検討する。